

1 背景と目的

海老山公園は、豊かな自然を有する標高50m程度の小山で古い歴史を持ち、桜の名所でもあり、地域の人々に親しまれてきた公園である。一方で、供用開始から50年以上が経過し、遊具やトイレなどの施設の老朽化、樹木の繁茂による見通しの悪化、桜の老木化などにより、公園の機能や魅力が低下し、利用者が限定で十分な活用がなされていない状況である。

また、海老山公園は地震・津波発生時の指定緊急避難場所に指定されているが、避難路に夜間照明が無く、避難路となる階段が急勾配で狭いなど、防災面の機能向上が望まれている。

こうした課題を踏まえ、貴重な地域の財産である海老山公園が今後とも地域の多様なニーズに対応できる場として、明るく魅力的で、かつ防災上の機能を有する公園となるよう、令和5年度に策定した「海老山公園再整備基本構想（以下、「基本構想」とする）」に基づき、地域住民等の関係者の意向を反映しながら、再整備に向けた基本的な内容を定めた「海老山公園再整備基本計画」を策定する。

2 現状と課題

(1) 現状

- ・桜の名所として現在でも多くの利用が見られる。
- ・日常的な利用は、散歩、ウォーキングが多く、定例的な利用では週3回のグラウンドゴルフ利用及び清掃活動等が行われている。その他、自然観察、憩い、遊具遊び等が見られる。
- ・桜、眺望の良さ、自然の豊かさ、歴史資源（地域の歴史を解説しやすい）が評価されている。

(2) 課題

- ・草木が生い茂って暗く、夜間も照明灯が少なく暗い。見通しの改善や照明灯による防犯性の向上。
- ・平常時や災害避難時の公園アプローチ改善（急な登り坂や階段）、指定緊急避難場所の機能向上。
- ・老朽化したトイレ（汚い、使いにくい、バリアフリー未対応）や施設の改善。
- ・BBQ利用による山火事の懸念（BBQ利用のルールづくり）。

3 基本方針

恵まれた自然と歴史的な資源を活かし、平常時は地域住民や来訪者が憩い、遊び、楽しめるにぎわいや交流の場として機能するとともに、災害時には住民が安心して避難できる場として、海老山公園を地域で活用し、育て、将来につないでいく。

(1) 基本理念

海老山公園の豊かな自然と歴史を活かした「にぎわい（交流）」、「やすらぎ（憩い）」、「あんしん（防災）」の森を継承する。

(2) 基本方針

- ①地域住民の交流、憩い、遊び、学びの場として、利用価値の維持・充実を目指す。
- ②地域住民の地震・津波発生時の指定緊急避難場所としての維持・充実を目指す。
- ③地域住民と行政との協働により、地域の魅力や防災力の向上に資する管理運営を目指す。

4 再整備に係る主な意見

アンケート調査（686件）、自治会や利用団体へのヒアリング調査（6団体）、ワークショップ（2回）、協議会（3回）では、今後の海老山公園の使い方等について下表のような意見が寄せられた。

種別	主な意見 …海老山公園の使い方、そのために必要な施設
交流・憩い・遊び	・桜の健全化 ・桜咲く広場を見渡せる場 ・桜のライトアップ ・地域のイベントが楽しめる場（段差を無くした広い利用空間） ・イベントステージ ・防災備蓄倉庫にコミュニティスペース（地域の集会の場や倉庫）の機能を付加 ・多世代が遊べる場のゾーニング（幼児、小学生、高齢者） ・インクルーシブな遊び場 ・斜面地形を活かした冒険的な遊具 ・健康づくり（健康遊具など） ・入口広場にもトイレ ・球技（テニス、バスケットボール、グラウンドゴルフなど）が楽しめる場
歴史・自然・学び	・歴史散策イベント ・地域の伝承の紹介 ・歴史解説板（地名の由来など） ・山頂広場での歴史解説スペース ・山頂の眺望を屋根で障害しない ・ARによる山城復元 ・今の自然な山の良さを活かす ・桜以外の四季を楽しむ ・竹など自然を活用したイベント ・屋根（学習利用にも対応） ・小中学校や公民館との連携 ・山頂広場までの距離表示
防災	・避難路の整備 ・防災備蓄倉庫 ・非常用トイレ ・耐震性貯水槽 ・かまどベンチ ・南側避難路の新設 ・北側の階段避難路の確保（遊具階段の拡幅） ・防災運動会
安全安心・バリアフリー	・見通しの改善（明るく安全な公園） ・誰もが使いやすいトイレ ・照明灯の整備（自然ゾーンは設置しない） ・落雷対策
管理運営	・これからも地域の情報交流が必要 ・管理運営のルールや体制の検討が必要 ・アンケート回答者の3割が、地元、関係団体、行政などが公園のルールづくりやイベント調整等で定期的に協議する「公園協議会」に興味があると回答。

5 再整備の方向性

①地域住民の交流、憩い、遊び、学びの場として、利用価値の維持・充実を目指す。

- 地域のイベントや交流を通じて地域コミュニティが高まる公園とする。
- 花見の場の継承と魅力化に取り組む（BBQ利用等の火の使用ルールの検討）。
- 地形や歴史・自然資源等を活かし、幼児、小学生、高齢者など多世代が遊び学べる公園とする。
- 安全安心で利用しやすい公園とする（公園アプローチ改善、見通しの改善、照明灯の設置など）。

②地域住民の地震・津波発生時の指定緊急避難場所としての維持・充実を目指す。

- 避難時の必要機能の整備と、避難弱者を含めた避難の仕組みづくりや防災イベントに取り組む。

③地域住民と行政との協働により、地域の魅力や防災力の向上に資する管理運営を目指す。

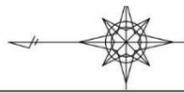
- （仮称）海老山公園維持管理運営協議会を設立し、管理運営の継続的な改善に取り組む。

6 主な取組スケジュール

「防災機能」を最優先とし、「交流・憩い・遊び」「歴史・自然・学び」は主要部から取り組む。

種別	主な取組	短期	中期	長期	概算事業費
防災	アプローチ園路(自動車歩行者通行帯)、階段の再整備(避難経路)、駐車場、多目的広場	■			約4.0億円
交流・憩い・遊び	防災備蓄倉庫・コミュニティスペース(体験学習施設等)複合施設、屋根付き休憩所、トイレ、舗装広場(非常用トイレ等)	■			約1.5億円
歴史・自然・学び	入口広場、冒険遊具ゾーン、ピクニック広場		■		約3.5億円
防災	耐震性貯水槽		■		約1.5億円
歴史・自然・学び	自然ゾーン、眺望広場			■	約1.5億円
防災	南側の避難経路(東西)…整備は他の道路整備事業との調整による		●●●●●●●●●●		約3.0億円
合計					約15.0億円

※整備時期は現時点での想定であり、前後する可能性があります。
※概算事業費は現時点での想定であり、変動する可能性があります。



基本計画図 (案)

<凡例>

- 交流・憩い・遊び
- 歴史・自然・学び
- 防災
- 安全安心・バリアフリー

- 植栽 (公園全体)
 - ・桜以外の季節の花や紅葉などの充実化

- ・眺望確保のための植生管理 (切り戻し剪定)

- 南側の避難動線の整備検討 (避難経路)
 - ・急峻な地形のためデッキ階段となる
 - ・道路用地からのアプローチ
 - ・入口に一次避難場所入口の標識を設置

- 自然ゾーン
 - ・自然解説板
 - ・園路舗装化、階段の再整備
 - ・園路沿いへのベンチの設置
 - ・園路沿いに眺望広場までの距離表示を設置
 - ・夜間照明は設置しない。(要検討)
 - ・園路沿いに屋外コンセントを設置 (夜間イベント用)

- 防災備蓄倉庫・コミュニティスペース (体験学習施設等) 複合施設
 - ・防災備蓄倉庫とコミュニティスペースの複合施設
 - ・多目的広場側にコミュニティスペースを配置し大きく間口を確保。
 - ・津波で浸水しない立地。非常用トイレや耐震性貯水槽用の備品
 - ・防寒用備品 (毛布、屋根付き休憩所用の側幕など)

- 多目的広場 (土の広場)
 - ・2段を1段に。
 - ・正規のグランドゴルフコース配置可能な広がり確保
 - ・健康遊具 ・かまどベンチ
 - ・町内運動会での利用も検討
 - ・見通しの改善 (低木の整理)

- テニス壁打ち・バスケットコート
 - ・ハーフコート (ネット不用)

- 階段の再整備 (避難経路)
 - ・都市公園の基準に準拠した階段に再整備 (寸法、材質、手すり、点字ブロック等)
 - ・入口に一次避難場所入口の標識を設置

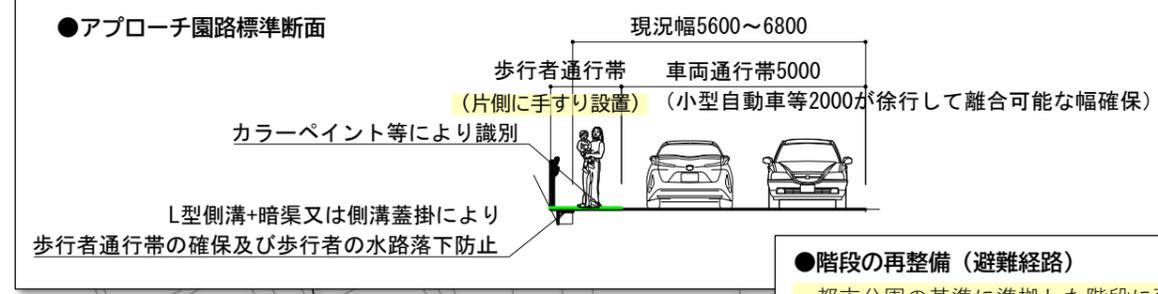
- 駐車場 (合計 26 台程度)
 - ・2段に分割
 - ・上段に車いす用 P (3 台)
 - ・耐震性貯水槽 (要検討)

- 車止め (自動)
 - ・夜間施錠 (19:00 ~ 8:30)

- 屋根付き休憩所
 - ・1クラス (35人) 以上に対応した屋根を確保 (学校・公民館利用対応)
 - ・遊具利用の休憩場所
 - ・竹など工作の場
 - ・桜を見渡す屋上テラスを検討

- 三十人の墓
 - ・バリアフリー園路でつなぐ
 - ・解説板の設置

- 休憩スペース
 - ・坂道の途中の休憩場所 (あずまや等)
 - ・津波で浸水しない



- 休憩スペース
 - ・坂道の途中の休憩場所 (あずまや等)
 - ・津波で浸水しない

- 冒険遊具ゾーン
 - ・下の広場と上の広場を遊具でつなぎ、明るい場所に。
 - ・斜面を活用した冒険的な遊具と階段 (避難ルート兼用 W2.0m)
 - ・屋根付き休憩所

- ピクニック広場 (芝生を検討)
 - ・BBQ可能エリアとルール検討
 - ・桜の健全化と充実化
 - ・芝生を検討 (維持管理要検討)
 - ・見通しの改善 (低木の整理)
 - ・かまどベンチ

- 最上部のフラットな遊具広場エリア (インクルーシブ遊具、幼児遊具)
 - ・誰もが楽しめる遊具エリア
 - ・幼児遊具エリア
 - ・冒険遊具ゾーンとエリアを分ける

- 入口広場・公園のインフォメーション
 - ・ウェルカム花壇 (コミュニティ花壇) + 舗装広場
 - ・海老山公園の総合案内板 (マップ付)
 - ・防災案内板 (一次避難場所の周知、施設位置図)
 - ・歴史案内板 (五日市と海老山、穴戸氏関連)
 - ・自然案内板 (海老山の自然の総合案内)
 - ・屋根付き休憩所、トイレ (多目的1基)
 - ・宮島街道沿いの道路標識のリニューアル検討

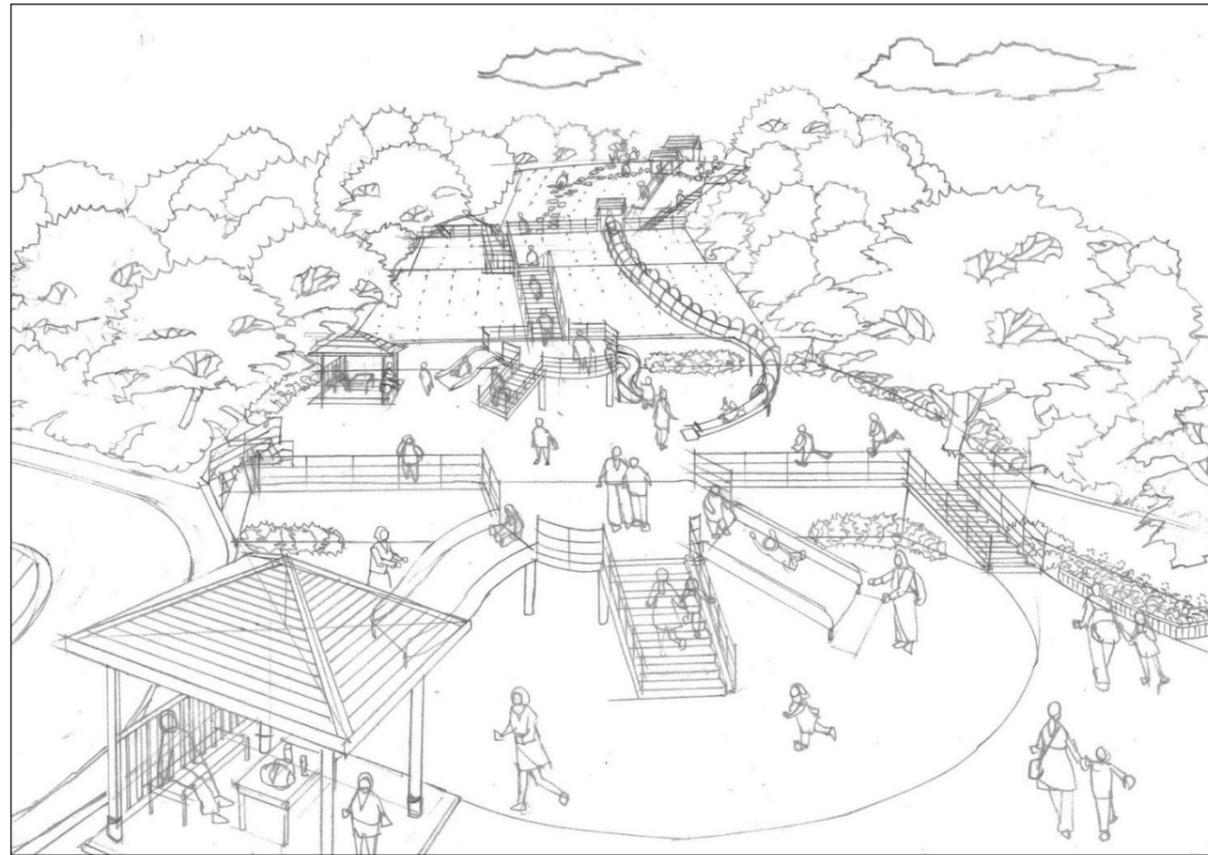
- 屋根付き休憩所
 - ・コミュニティスペースと一体的に整備
 - ・1クラス (35人) 以上に対応した屋根を確保 (学校・公民館利用対応)
 - ・多目的広場の休憩場所
 - ・竹など工作の場

- 眺望広場
 - ・最も高い場所への屋根付き休憩所の整備を検討
 - ・桜とともに眺望が楽しめるようにする。(ヤマザクラ等の野生種の桜の植栽)
 - ・屋外コンセントを設置 (夜間イベント用)
 - ・眺望 (広島湾) の解説板
 - ・三角点の解説板
 - ・歴史案内板 (津久根島とあまんじゃく伝説 (海老山城跡、五日市城跡、五日市港) ...屋根付き休憩所内にも解説パネルを設置

- 電気設備
 - ・照明灯の整備。園路や広場の平均照度 5 ルクス以上を確保。(自然ゾーンは夜間に人を導かないよう夜間照明は設置しないことを検討)
 - ・イベント利用が行いやすいよう広場に屋外コンセント (施設型) を整備 (桜などのイベント的なライトアップにも活用可能)
 - ・夜間の地震時に停電しても避難できるよう、避難ルートや広場に非常用照明を整備。

バリアフリー要検討 (高さ 50cm 程度)

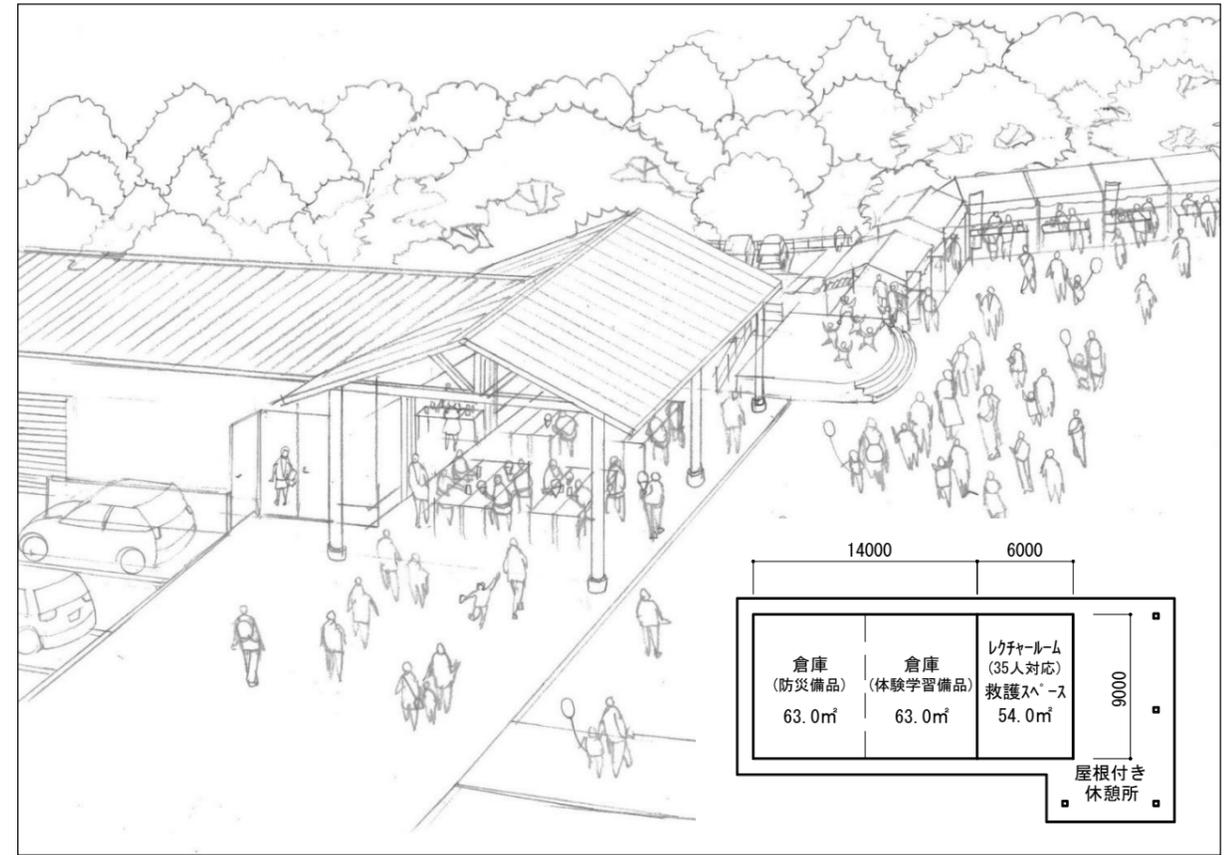
イメージスケッチ (案) (着色前)



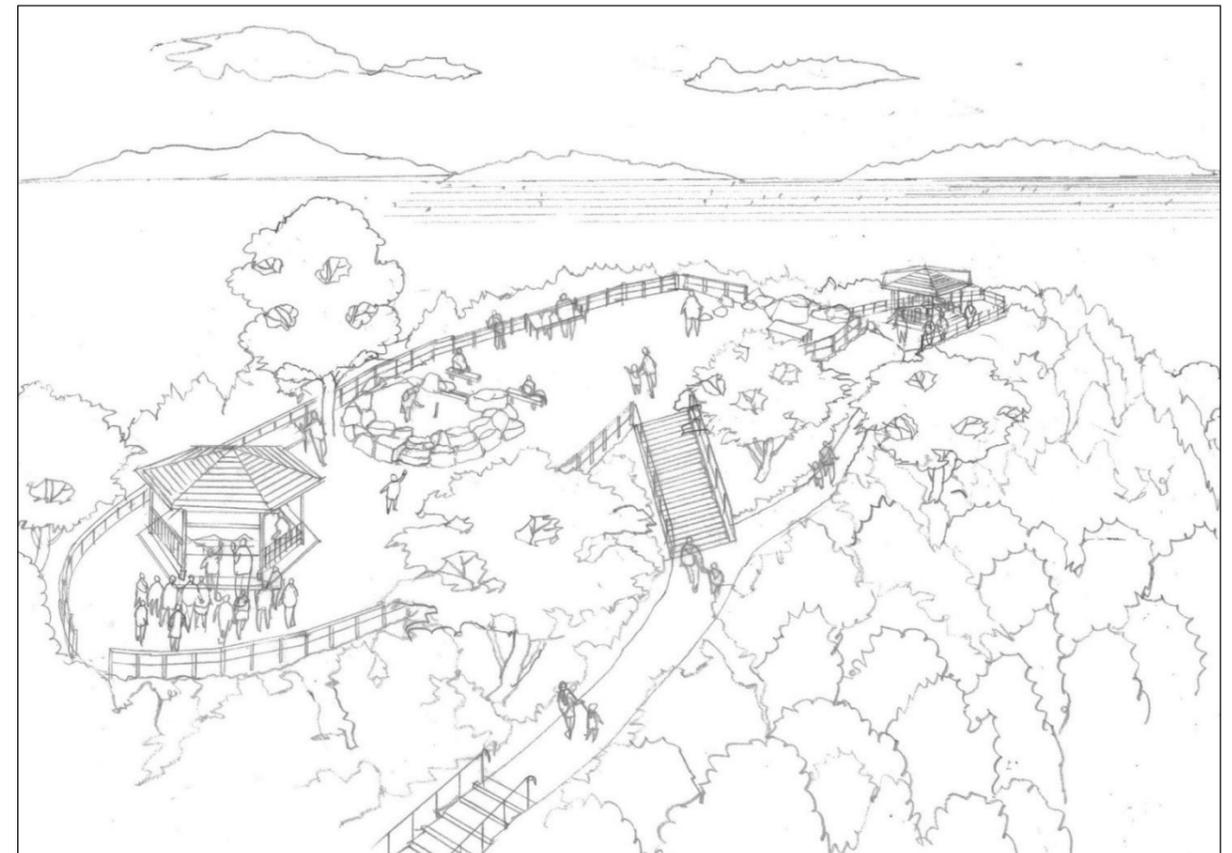
1 入口広場から冒険遊具ゾーンを見上げる (明るく開けた斜面を冒険的な遊具と階段でつなぐ)



2 最上部の遊具広場エリアとピクニック広場 (屋根付き休憩所、幼児遊具、インクルーシブ遊具)



3 防災備蓄倉庫・コミュニティスペース複合施設と多目的広場 (屋内～半屋外を一体的に活用)



4 眺望広場 (樹林管理で左右の市街地側にも眺望を開き、解説パネル付きの屋根付き休憩所を配置)